

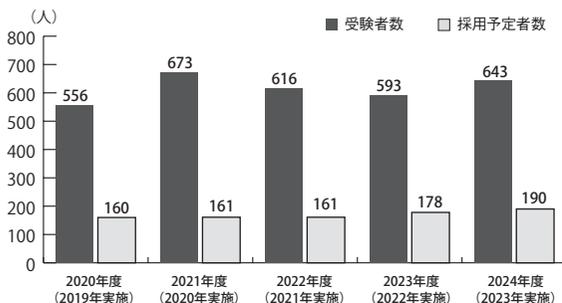


# 岡山市

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 面積  | 790 km <sup>2</sup> |
| 人口  | 713,212 人           |
| 市の花 | キク                  |
| 市の木 | クロガネモチ              |
| 市の鳥 | タンチョウ               |

|               |   |
|---------------|---|
| <b>求める教員像</b> | <p>「自立に向かって成長する子ども」の育成を推進する教員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○岡山市の教育に夢と希望をもち、使命感に燃えている人</li> <li>○子どもへの愛情をもち、自らも成長していくことができる人</li> <li>○子どもの知・徳・体のバランスのとれた力を向上できる専門的な知識・技能のある人</li> <li>○中学校区を単位とした学校園一貫教育（岡山型一貫教育）と岡山市地域協働学校の趣旨を理解し、実践することができる人</li> <li>○社会の変化や新しい教育課題に柔軟に対応できる人</li> <li>○豊かなコミュニケーション能力、社会人としての良識をもち、他者と協調できる人</li> </ul>   |
| <b>出願期間</b>   | <p>公開日 4月10日(水)</p> <p>電子申請 4月10日(水)～5月17日(金) 17:00</p>   |
| <b>試験日程</b>   | <p>1次試験<br/>試験日 7月6日(土)・13日(土)・14日(日) 合格発表日 8月1日(木)</p> <p>2次試験<br/>試験日 8月10日(土)～12日(月)・17日(土)～19日(月) 合格発表日 9月20日(金)</p>  |
| <b>年齢制限</b>   | 昭和40年4月2日以降に生まれた者   |
| <b>募集教科</b>   | [小] [中] 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語 [養] [栄]  |
| <b>特記事項</b>   | <p>■特別選考 ①<b>社会人経験者特別選考</b> 平成31年4月1日～令和6年3月31日に民間企業等の正規職員として1か所3年以上勤務し、教科に関する専門的な知識等を有する者は、1次を免除し、特別面接を実施。②<b>教職経験者特別選考</b> ⑦現職教諭を対象 [養・栄] 志願者で、国公立に正規[養・栄]として在職中で、通算3年以上の在職経験者は、1次を免除し、特別面接を実施。⑧岡山市元教諭を対象 岡山市立に正規教諭として通算3年以上の在職経験があり、教職経験のある校種等、教科の志願者は、1次を免除し、特別面接を実施。③<b>講師特別選考</b> 令和5年度一般選考で2次の受験資格を得、同年度と同一の受験区分及び教科で受験する者であり、令和6年度に常勤講師等として岡山市立等で勤務し、所属長の証明を得た者は、1次を免除。④<b>理科教育推進特別選考</b> [小][中] 理科志願者で、「理数系教員(CST)養成拠点構築プログラム」修了(修了見込を含む)者は、1次の専門を免除。⑤<b>大学等推薦特別選考</b> [小・中] 志願者で、規定の要件を満たし、大学等が推薦する者は、1次の専門を免除。⑥<b>大学3年生等特別選考</b> [小・中・養] 志願者対象。1次の専門のみ受験可能。合格した場合、翌年度実施の1次の専門を免除。</p> <p>■<b>身体に障害のある者を対象とした選考</b></p> |

### ▼受験者数等推移

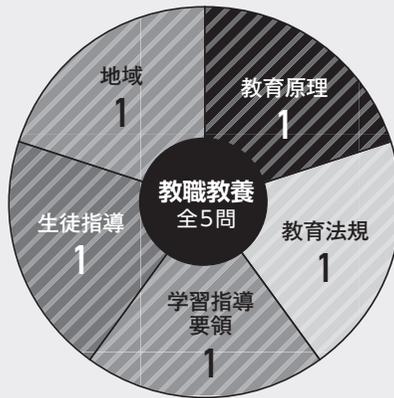


### ▼令和4年度 問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数(市立学校)

|        | 小学校    | 中学校 | 高等学校 |
|--------|--------|-----|------|
| いじめ(件) | 2,455* |     |      |
| 不登校(人) | 651    | 822 | —    |

\*特別支援学校を含む

## 2025年度(2024年実施) 筆記試験DATA



\*「地域」には「教育時事」も含まれる。

- ▶ 教職教養のみの出題に変更
- ▶ 教育時事で必出のご当地問題
- ▶ 教育法規ではこども基本法からの出題も

岡山市では、今年度から教職・一般教養に関する試験がなくなり、代わりに、教科等専門試験の中で教職教養が出題される形式に変更された。また、教職教養では例年、教育心理と教育史を除く各分野から五択形式で9問出題されていた。今年度は問題数が5問に減少したが、それ以外は同様の傾向であった。

**学習指導要領**では総則が頻出であったが、今年度は小・中学校学習指導要領前文の「教育課程を通して～」段落の理解を問う空欄補充問題が出題された。

**教育原理**（情報教育等）のうち、情報教育では、「教育データの利活用に係る留意事項」（2023年）から、「公立学校の教育データについて……必要があります」、「教育データを利活用する目的は……支援を可能にすること」、「個人情報には……住所等の情報は含まれません」、「教育データの利活用に当たっては、……両立が実現されることが重要です」、そして「プライバシーの保護に当たっては……十分というわけではありません」の正誤問題が出題された。

**生徒指導**では幅広い領域から出題されており、今

年度は「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」（2023年）から「2心の小さなSOSを見逃さず、『チーム学校』で支援します。」のうち、「SOSをキャッチした後に～」段落と「自分のクラスに入りづらい児童生徒が～」段落、そして「こども家庭庁とも連携し、子供たちと保護者を包括的に支援するため～」段落の理解を問う空欄補充問題が出題された。

**教育時事**においてご当地問題は必出である。今年度は、岡山市で制定されている「岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例」から、市民協働で育成することを目指す「自立に向かって成長する子ども（自立する子ども）」の姿として具体的に示されている組合せの正誤を問う問題がみられた。

**教育法規**では、2023年4月施行のこども基本法から第3条（基本理念）の第2号と第4号の空欄補充問題が出題された。